

準決勝 中浦2―1新発田 佐渡2―1糸魚川 決勝 佐渡2―1中浦 △柔道(十三チーム) △団体戦(リーグ) ①西浦 ②長岡 ③燕 △個人戦 ○松田―山本 ○諸橋―阿部 ○浅野―小林 ○五十嵐―野上 準決勝 ○松田―諸橋 ○浅野―五十嵐 決勝 ○浅野―松田 △全国予選会 西浦1―0燕 加茂2―1見附 決勝 西浦2―1見附 △剣道(三チーム) △団体戦(リーグ) ①西浦 ②燕 ③柏崎 △個人戦 川島2―1小寺 佐藤2―1遠山 準決勝 佐々木2―0川島 佐藤1―0高波 決勝 佐々木2―1佐藤 △全国予選会 十五才以上十九才未満 ①佐々木 ②高波 十九才以上二十才未満 ①佐藤 ②川島 二十才以上二十五才未満 ①沢口 ②黒川 △卓球(男25チーム、女22チーム) △男子の部 直江津3―1長岡 加茂3―1中浦 三条3―1刈羽 佐渡3―不戦勝 準決勝 加茂3―2直江津 佐渡3―1三条 決勝 佐渡3―1加茂 △女子の部 新津3―0三条 刈羽3―2佐渡 中浦3―2長岡 五泉3―1北魚 準決勝 刈羽3―2新津 中浦3―1五泉 決勝 中浦3―1五泉 決勝 中浦3―0刈羽	△全国予選会 新潟3―1高田 小千谷3―0佐渡 十日町3―0西浦 中浦3―1長岡 準決勝 新潟3―1小千谷 十日町3―1中浦 決勝 十日町3―0新潟 △バレーボール(男21、女21) △男子の部 佐渡2―0加茂 直江津2―0柏崎 三島2―0燕 長岡2―0南浦 準決勝 佐渡2―0直江津 長岡2―0三島 決勝 佐渡2―1長岡 △女子の部 十日町2―0刈羽 三条2―1五泉 加茂2―0直江津 三島2―1中浦 準決勝 三島2―0十日町 加茂2―0三島 決勝 三条2―0加茂 △バスケットボール(男15チーム、女1チーム) △男子の部 西浦58―39新井 柏崎64―40刈羽 長岡85―69見附 三条79―62栃尾 準決勝 柏崎70―51西浦 長岡60―52三条 決勝 柏崎61―57長岡 △女子の部 長岡(不戦優勝) 準決勝 直江津6―0佐渡 十日町4―3燕 新潟2―1西浦 小千谷4―1糸魚川 準決勝 直江津2―0十日町 新潟4―1糸魚川 決勝 新潟1―0直江津	△軟式野球(二十五チーム) 直江津6―0佐渡 十日町4―3燕 新潟2―1西浦 小千谷4―1糸魚川 準決勝 直江津2―0十日町 新潟4―1糸魚川 決勝 新潟1―0直江津
--	--	--

札幌最大の大会も滞りなく終了した。宿泊選手役員だけで二千五百人もあり、そして柏崎の旅館へ、呑み切切れるかどうか非常に心配した。それも何とか乗りこえた。全市の旅館に散布した選手の送迎の自動車代が下手な事するといつ〇万円でも賄いきれないぞと脅くがつた。だが何となく切りつめてやりとげた。まあこんなのが、青息吐息の事務局内部のやりくりの実態であつた。だが大会は堂々としてやりとげ得たと自負している。

役員、事務局員の絶大な勞苦に改めて敬意を表し深甚の感謝を捧げる次第であるが、これと共に、柏崎市が持つ、体育に対する潜在力に對し、新たな角度で見直

を中心に、一中、柏高、柏中、例へば、市堂陸上競技場を工高、柏商高、柏小と密着して存在すること、是は偉大なる体育潜在力である。即ち、体育会場として使用し得るもの屋内体育館九、野球場三、テニスコート六、バレーコート八、ブルートン、其の他の屋外コートは自由にとれるという施設が、僅か半径三百メートルに全部入るといふ様な所がある。他のどの市にあるであらうか。綜合競技場はなくしてはならないし、欲しいものである。だが、是を作つて見た所でこの様の大회는そこだけでやり得ない。必ぜや東のグラウンド、西のコートと市内を色々と引き出すより他にない。大会經費費は兎も角として、選手、

くけ、柏小東運動場、柱高西運動場、柏小体育館等の改革の折は、この事情をよく汲んでいたといいて、柏崎の体育施設として恥しくないので作ら上げていた。きたいと思う。尚今回、二中体育館が使用出来ず、無為無能に終つたのは、床が弱く、大会競技に危険が予測出来たためである。如何なる事情かはわからないがあの床の強さでは、今後も何一つ会場となり得ないと思へた。是非床の強化をお願いしたいものである。更に又一中屋外運動場の整備である。是が整備出来たら、野球グラウンドが更に一つふえた事となり四球場が相接してあるわけとなる。正に鬼に金棒である。今回の大会で柏崎市へ落ちた金も「せめて電話位は」とい

た。共々、特に為政者の方々は是非共実現に一肌ぬいてはいただきたい事を体育に關する者として改めてお願いする次第である。次に旅館であるが、今回は経費他の關係もあり一部の旅館は利用出来なかつた。従つて柏崎市の全旅館を使うに到らなかつたから、まだ收容能力があると言へるわけである。一般的に各旅館共、サービスに注意され好評であつた。この点旅館組合幹部の方々に大にお礼を申し上げたい。只欲を言へば、数軒の電話のない家があり、是は少なからぬ批判を受けた。個人の営業なので何とも申しかねが、体育柏崎の看板をかけている本市の体面から「せめて電話位は」とい

事にあつたもの、柏崎市の旅館はそろつていて、え得る。よくあれだけの人員を消化したものだと思ふ。市市ならば、おそらく料亭寺院、民家等の代用は避けられなかつたのでなかうか。柏崎がまだ柏崎駅前安田駅前、東部地域に、人も割当てない大旅館の数軒ある事を思う時、ものがある。この事實は、今後体育行事のプランを建て時充分肚においておくべきだと思ふ。

最後に柏崎市、刈羽郡の青年団員諸君の活動である。大会前後を通じ、よく活動したと思つてゐる。この点幹部の方々の苦勞も並大抵でなかつた事と推察してい

の職員、自信がなかつた。婦人会の三階節に切りかへた。夕刻等の悪条件が重なり涙を吞んで断念せざるを得なかつたのであつた。張り切つていたといふ婦人会の切つてには全く相済みない事と思つてゐる。我々としては浜に天幕を張つて、(自衛隊の協力を得れば、一張りで百人位寝れる)がある。青年の村を築きたい意向さへあつたのである。願わくば昭和三十五年の大会には裏浜一帯に青年の村が出来、マースゲームが見たいのである。この位の意気がなくては青年の力の盛り上がりはならない。そして競技役員も悉く青年団員か又は戦後の青年団出身者である位の気魄がほしいものである。

(事務局長 月籠 套)

①、手足を平均的に各方面に伸縮させる運動で

しい体制を、運動の中心にするのであるから、筋肉の弾力性を求めることが絶対的の条件となる。これは筋肉と関節の複合運動として伸筋、屈筋の共同作業を等質にする完全な運動を要求することにもなる。身体の平均調和ということにもなる。ろうし、脊柱の正調をねらう水泳が脊椎の非生理的部分に働きかける運動ということにもなる。

五度の静水中では約七五〇普通の跼歩より大きく、急峻な坂路を登るのよりは低いといわれている。この大きな運動量を要する連続的運動は、その完成を期すために必然的に、動作筋の正しい活動の調節を要求してくる。

生理学の原則によれば、作用は構造をつくるといわれている。誰もが気づかずしかも多くみられる肩胛骨外転による不良姿勢の解消も、形彫的能力や機能的な能力、精神的能力の三要素を相互に関連させつゝ、総合運動ともいうことができよう。

いる子ども達を生徒達を如何にしたらもつと「よりよいからだ」にして育てるこれが出来るかを真剣に考えなければならぬ。

徒手体操はその目的から言つて、子どもたちが relaxation の身体的条件を備えていなければ出来ない、といひます。放松とはわかり易くいえば、脱力と緊張の運用の妙を言うのであるが、では子ども等が、この状態になれないうちに体操は指導しなくともよいのかということになる。實際どもは、小学校一年生の子どもさへ夏休みの朝体操には参加してゐる。また徒手体操と銘を打たなくとも模倣表現などで實際に指導がなされてゐる。指導的

水泳指導の基本問題

柏崎市教育委員
會指導主事 笹川芳三

今夏、市で開設した水泳学校に関する問題に局限して、この稿を起したのではない。水泳指導に關係する担することに變りはない。

水に親しませる
だけでよいか

こわがるより慣れさせる
い。「子どもは喜んで
さがるより親しませる。
一というだけなら、チン

ましなことはないが、
これで其の場に対処する営
みになるのだろうか。生活
々々、直面する場にどう動き
かけるかで、その生活領域

みは、その場に最も必要な措置としての発現でなければ、意味のないものになつては自ら、独自性を持つ。

今日の体育は、普通に行
われている簡単な運動でも
筋肉の力学的活動から見
て、一般に人智が進むと、な

ば、複雑な内容の含まれて
いることが明かにされたこ
とを根拠にしており、究極
は生命力の伸長、発揮とい
るべく筋肉を少く活動させ
て、その成績をなるべく多
く確実に収めようとする。
の筋繊維は筋肉活動の根

必要かなしということには、筋舞が常に筋しに運動することから、専ら小筋を使用する方向をとる状態を考へることができる。

筋舞が常に筋しに運動することを認識し、それを支配することができるように発達するということとは、神経系統の末端の発達を意味する。

筋繊維は各独立している統一体であるが、火薬の分量というものは、身体支配に参加する筋肉群の程度にあ

スポーツの中で、アマチュアが低くなつて、プロが君臨しているものがある。それは柔道と相撲だ。そういふ柔道家と相撲好きはすまでもない。

新聞記事をよく見ていると柔道試合に五段が三段に投げられたり、六段が二段に負けたりしているのが数などと思つてゐる。

新制度の採用が急務だ。段位と別に審判員を置くべきである。若干の体重別制度位を探り入れて近代化したものと思つてゐる。

怒るかも知れないが、それを職業としているものはプロなのである。他に職業を持ち余暇を利用してやっているものはアマチュアなのである。オリンピックは明瞭

多くある。これは一体何なのか。段位は權威のないものであることを如実に物語

は困る。柔道は加納先生が講道館を開かれた時已に、武道からスポーツへ変つて

ス
ポ
ー
ツ
戲
評
(1)

（柔道の巻） 三階 老 峯

だから面白い。柔道の審判規則とかに、何段の試合

の審判は何段以上でなくては出来ないと言ふのが、あるが、目ざめ、日本の国技を本に、世界に進出させんとし、一連の動きをしなくてはならぬ。こんなぶざまな事をし

スポーツ戯評
(1)

（柔道の巻）
三階 老 峯

をやる者がア、チユアである」と

x x

だから面白い。柔道の審判規則とかに、何段の試合調べたら余りに明瞭だ。

x x

ついている。今度の世界選手権に出る曾根選手は何段か教訓と逆行して今時の柔道家が武道の教祖みたいな気であるのだから頭が変なこ

の審判は何段以上でなくては出来ないと言ふのが、あるが、目ざめ、日本の国技を本に、世界に進出させんとし、一連の動きをしなくてはならぬ。こんなぶざまな事をし

しい体制を、運動の中心に弾力性を求めることが絶対的条件となる。これは筋肉と関節の複合運動として伸筋、屈筋の共同作業を等質にする完全な運動を要求することにもなる。身体は平均調和ともいうことにもなる。ろうし、脊柱の正調をねらう水泳が脊椎の非生理的部分に働かせる運動ということにもなる。

③、頭をあげて手足による浮力を補充し、推進力をつけるために継続的に動作をする運動である。

器用に敏捷に運動する第三類型にあたるもので、技術的に分解すれば、体位、

ギ一代謝からみては水温一五度の静水中では約七五〇普通の距歩より大きく、急峻な坂路を登るのよりは低いとわれている。この大きな運動量を要する連続的運動は、その完成を期すために必然的に、動作筋の正しい活動の調節を要求して

生理学の原則によれば、作用は構造をつくるといわれている。誰かが気づかずしかかも多くみられる肩胛骨外転による不良姿勢の解消も、形彫の能力や機能的能力、精神的能力の三要素を相互に関連させつゝ、総合能力とする健康を充足する運動ともいうことができる。

いる子ども達を生徒達を如何にしたらもつと「よりよい」からだ一かして育てるこゝが出来得るかを真剣に考えなければならぬ。

徒手体操はその目的から言つて、子どもたちが relaxation の身体的条件を備えていなければ出来ない、と言います。ロウズとはわかり易くいえば、脱力と緊張の運用の妙を言うのであるが、では子ども等がどの状態になれなくてもよいの状態は指導しなくともよいのかということになる。実際どもには、小学校一年生の子どもさへ夏休みの朝体操に多参加してゐる。また徒手体操と銘を打たなくとも模倣表現などで実際に指導がなされてゐる。指導的

学校体育への問題点

育くむ子等を前に――

近藤喜八郎

狭い片舎の片隅にいますと秋晴れの日など、子ども等とともに走ったり、跳んだり、投げたししたことへの郷愁と申しましたようにか、子どもらしい、若人らしい仲びのびとした生活態度、明るい性格、そして何ものにも屈しない強い意に、その教材の持つ価値を充分検討し、それがどう発展し子ども達に身体的影響を与えるかを考えねばならない。

特に中学校体育については、教科時考えさせることは、教科指導と課外活動の運動ク

上に両腕を突張り「うつ」と力んだりするこの慣れたくしの与えられた仕事から市内の各学校の「保健」体育の授業を見せたい。併せつゝ、あくまでも身体

力、最後までもやり遂げる努力の指導とは自ら異なるところである。課外活動は「よいからだ」を制作するという目標より、如何にしたらよい記録を出したら又勝つことが出来るかである。ところがあつ

り、或は先生方の貴い研究を聞かせて戴き、常に感じていた学校体育に対する問題点を一、二取り上げてみよう。

まず「体育科の目標の明確化」とは景観の樹立といふことではない。遊びやスポーツ、例えは、遊戯即ち体育ではないし、スポーツ即ち体育でもない。遊びやスポーツ、

の正常なる発達を志向する実技実践の合理化へと目ざさなければならない。

例えは、遊戯即ち体育では、遊戯が目的である。遊びやスポーツ、

てはならないと叫んでも、現状は上記の状態であるとするならば更に中学校に於ける正課時の体育指導に工夫が加えられなければならないであろう。このことは問題が大きいので、何れかの

師作と世界観の樹立」を第一として戴きたいといふことです。

体育の目標は今までの文部省の指導要領によると三つ、改訂指導要領によると四つになっているが、その基本的な目標は「いかに

ゲームの中に「よいから」を作る有目的なものがあったことを始めて体育として取上げられるものである

又、常に問題化するのが徒手体操から、小学校では何学年から実施したらよ

機会に譲ることにしました。

主事 柏崎市教育委員会指導

編集後記

本号より当紙を毎月十日に復刊致しますから御愛読

究極的な目標は「よいから
 よいから」で、とにかく
 よいからだと、体格、体
 力、運動能力、内臓機能等
 を基礎条件として「立派
 方」の考え方が、即ち体育に對
 して上り下りする。柏崎市役所衛生体
 育課（電話一、二〇三番）
 へ申込んでいただければ一
 部十五円で直ちに御送付申
 上ります。

編集後記

号より当紙を毎月十日刊致しますから御愛読